
令和6年度

四日市市農業集落排水事業の決算

四日市市上下水道局

はじめに



四日市市の農業集落排水事業は、農業用用水の水質保全及び農村集落の生活環境の改善を図り、併せて、公共水域の保全を図り、農村社会の形成及び循環型社会の構築に資することを目的に事業を進め、平成27年度に全11地区の整備を完了しました。

令和6年4月からは、農業集落排水事業の財政状態及び経営成績を明瞭にすることを目的として地方公営企業法を適用しました。

本書は、農業集落排水事業とその決算について、わかりやすくお伝えできるように努めて作成しました。四日市市の農業集落排水事業がどのような状況なのか、少しでも知っていただければ幸いです。

目 次

1. 農業集落排水事業とは
2. 公営企業と企業会計
3. 決算とは
4. 令和6年度の決算の内容
5. 企業債について
6. 農業集落排水事業の財政状態



1. 農業集落排水事業とは

農業集落排水事業とは、農村地域における生活環境の改善や水質保全を目的とした排水処理施設の整備を行う事業のことです。専用の排水処理施設（農業集落排水施設）を設置し、家庭から出る生活排水（台所、風呂、トイレなど）を集め、適切に処理した後、川などの自然環境に放流しています。

四日市市の農業集落排水事業は昭和52年度に県地区の着手に始まり、平成27年度の和無田地区の整備で完了しました。したがって、新規施設の建設はありません。

農業集落排水処理区 (全11地区)	小牧南、狭間、水沢野田、水沢東、堂ヶ山、北小松、鹿間、水沢中部、小西、水沢東部、和無田
----------------------	---

※県地区は令和3年に公共下水道に接続切替

農業集落排水事業は、施設の整備はすべて完了しているため、今後は維持管理が中心になります。



2. 公営企業と企業会計

- 公営企業とはなにか

地方公共団体は、一般的な行政活動の他、水の供給や公共輸送の確保、医療の提供、下水の処理など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供する様々な事業活動を行っています。こうした事業を行うために地方公共団体が経営する企業活動を総称して「地方公営企業」と呼びます。水道事業、下水道事業、交通事業、病院事業等がその代表的なものであり、農業集落排水事業もこれにあたります。

- 企業会計とはなにか

公営企業会計とは、民間企業と同様の発生主義と複式簿記に基づいて経理する会計手法です。主な目的は、事業の経営成績や財政状態を正確に把握し、独立採算性を確保することにあります。これにより事業運営の透明性を高め、民間企業との比較や経営基盤の強化が可能になります。

▼企業会計の特徴

	内 容
発 生 主 義	現金の収支の有無にかかわらず、経済活動の発生という事実に基づいて会計処理を行う。 減価償却費などの非現金支出を計上する。
複 式 簿 記	一つの取引を経済価値の増加と他の経済価値の減少という二つの側面から捉え、「借方」と「貸方」の勘定科目に分けて記録する。
予 算	収益的収支（3条予算）・・・1事業年度の経済活動に発生した全ての収入とそれに対応する全ての支出 資本的収支（4条予算）・・・公営企業の将来の経済活動に備えて行う建設改良費及び建設改良に係る企業債償還金などの支出、並びにその財源となる収入



企業会計に対して、一般的に市役所等の地方公共団体で行われている会計処理は、官庁会計と呼ばれています。官庁会計はさらに一般会計と特別会計に分かれていて、令和5年度までは農業集落排水事業も特別会計として管理されていました。

3. 決算とは

決算とは、1年間に入ってきたお金（収入）と出ていったお金（支出）を計算し、利益や損失をまとめた数字を「決算書」として確定させることです。決算書では、企業の経営状況を明確にすることを目的として、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を作成します。これら3つの重要な決算書類のことを、財務三表といいます。

	損益計算書	貸借対照表	キャッシュ・フロー計算書
作成の目的	収益と費用を管理し、財政状態を明らかにする	資産、負債、純資産を管理し、経営成績を明らかにする	お金の出入りを管理する

ここからは、実際に四日市市の令和6年度決算について見ていきましょう。

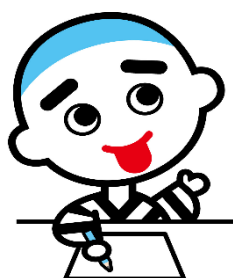


4. 令和6年度の決算の内容

収益的収支は、約4億9千万円の収入に対して、約4億4千万円の支出がありました。収益が費用を上回ったため、約6千万円の純利益となりました。

資本的収支は、約1億1千万円の支出がありました。収入はありませんでしたので、不足する分は当年度の利益や減価償却費などで補てんしました。

区 分	決 算 額 (円)	主 な も の
収益的収入	493,930,993	農業集落排水使用料、他会計補助金 など
収益的支出	437,201,182	維持管理費、減価償却費 など
資本的収入	0	—
資本的支出	111,031,872	企業債償還金



資本的収支には、農業集落排水施設を整備していた時に、施設の建設費用として借り入れていたお金（企業債）の返済のみが計上されています。資本的収入はありません。

● 収入について

地方公営企業は、経済性の発揮と公共の福祉の増進を経営の基本原則とするものであり、独立採算制が原則とされています。つまり、農業集落排水事業における経費は、農業集落排水使用料でまかなわれるべきだという考え方です。

しかし、人口減少に伴って農業集落排水使用料は減少しており、費用の多くをまかないきれないことから、税金を繰り入れることで事業を存続させています。このとき繰り入れる税金を、一般会計繰入金といいます。

内 容	金 額 (円)	割 合 (%)
農業集落排水使用料	92,926,900	18.8%
一般会計繰入金	305,133,000	61.8%
長期前受金戻入	95,650,767	19.4%
その他の収入	220,326	0.0%
合 計	493,930,993	100.0%

● 支出について

農業集落排水事業における支出には、家庭から出る生活排水を処理する施設の電気代や修繕などにかかった費用である維持管理費や、経年劣化による建物や設備などの資産価値の減少分を費用化した減価償却費、企業債の返済および利息の支払等があります。

今後は、物価上昇等の影響による維持管理費や、既存施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれており、厳しい経営環境にあります。

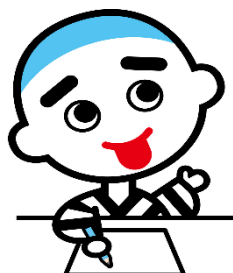
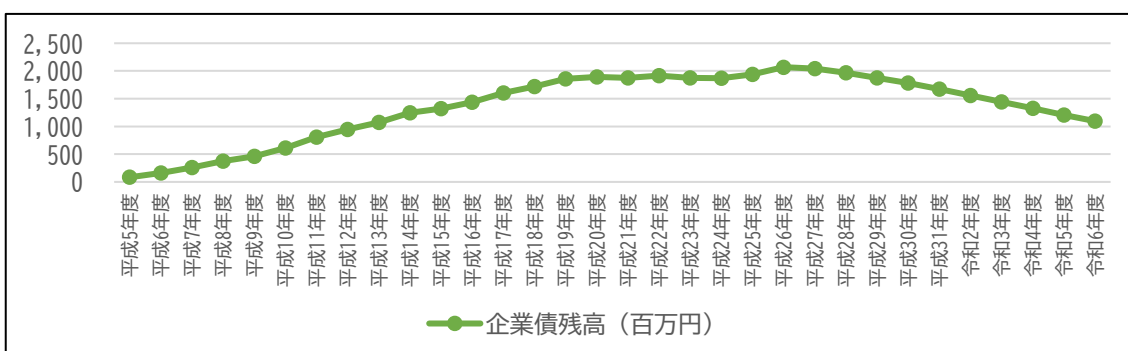
内 容	金 額 (円)	割 合 (%)
維持管理費	248,713,284	45.4%
減価償却費	166,436,432	30.3%
企業債償還・利息	131,405,438	24.0%
その他の支出	1,677,900	0.3%
合 計	548,233,054	100.0%

農業集落排水事業は厳しい経営環境にありますが、農村集落に欠かせないインフラであることから、経営の効率性を高めて費用の削減に努めるとともに、既存施設を適切な状態で維持し、持続可能な市民サービスの提供を目指しています。



5. 企業債について

農業集落排水事業はすでに整備が完了しているため、新規施設の建設等のための費用（建設改良費）の支出がありません。企業債は、建設改良費の調達のために借り入れるものなので、現在は新規の借入は行っていません。そのため、企業債の残高は年々減少しています。



整備が完了した平成27年度以降は、残高は減少しています。ピークの平成26年度と比べて、約10億円減少しました。

6. 農業集落排水事業の財政状態

企業の財政状態（経営状態）を分析するため、いくつかの指標を使って、令和6年度の四日市市の農業集落排水事業の財政状態を表すと、次の表のようになります。

	項 目	値	備 考
生産性	職員一人当たり営業収益 (千円/人)	21,120	1人当たりの営業収益を示す指標で、高いほど良い。
	職員一人当たり使用料収益 (千円/人)	21,120	1人当たりの使用料収入を示す指標で、高いほど良い。
	職員一人当たり有収水量 (m ³ /人)	136,935	1人当たりの有収水量を示す指標で、高いほど良い。
収益性	経常収支比率 (%)	113.21	経常支出が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標で 100%を割ると赤字となる。
	総収支比率 (%)	113.23	総費用が総収益でどの程度賄われているかを示す指標で、高いほど良い。
安全性	流動比率 (%)	108.53	短期債務に対する支払能力の指標で、100%以上あるのが望ましい。
	固定比率 (%)	137.26	固定資産にかかる費用の支払能力と安全性の指標で、100%以下が望ましい。
	自己資本構成比率 (%)	68.58	長期的な安全性を見る指標で、高いほど財政状態は良い。

いろいろな指標を使うことで、四日市市の良いところも悪いところも見えてきます。市特有の課題を見つけ出し、今後の経営に生かしていきます。

